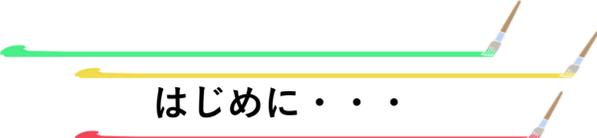


YCU ボランティア体験記集



横浜市立大学
ボランティア支援室
学生スタッフ
2016年3月発行



はじめに・・・



こんにちは！
横浜市立大学ボランティア支援室学生スタッフです。
ボランティア支援室では、
市大生に学内外の様々なボランティアの情報を提供しています。
ボランティアに少しでも興味がある方、
ぜひ立ち寄ってみてください。
きっとあなたに合ったボランティアが見つかるはずですよ。

私たちボランティア支援室学生スタッフは、
2015年度は、ボランティアに関する情報を広報誌で発信したり、
ボランティアのワークショップの開催、
実際のボランティア活動などをしました。

～2015年度 学生スタッフ活動報告～

- 7月 ボランティアワークショップ開催、広報誌第1号発行、
ボランティアに関する意識調査アンケート実施
- 10月 広報誌第2号発行
- 11月 浜大祭での出店（ボランティアカフェ、工作教室）、
地域行事でのボランティア活動
- 12月 海外ボランティアトークセッション開催
- 3月 YCUボランティア体験記集（本誌）発行

学生スタッフには、ボランティアの経験者も、そうでない人も
います！皆さんの参加を歓迎します！！一緒に活動しましょう！
ボランティア支援室をぜひご利用ください。



体験記集について



ボランティアってやったことはありますか？
どんなイメージをお持ちでしょうか…？
この冊子では、市大生のボランティアの経験、感想などを、
わずかですが体験記集としてまとめました。
これを手にとってくださった皆さんに、
ボランティアに少しでも興味を持っていただけならうれしいです。

ボランティア体験記 「ボランティア名」

- ①活動内容
- ②感想
- ③アドバイス



「はまっ子ふれあいスクール」活動期間：2015年6月～現在
国際総合科学部 1年 池田真結乃

- ①放課後、はまっ子ふれあいスクールに来る子どもたちの安全見守り。個々の帰宅時間を把握し、時間通りに帰します。月1でイベント（クリスマス会、プラ板、豆まきなど）を行うのでその準備、当日のサポートもします。
- ②はじめはとても不安だったのですが、子どもたちがすぐに懐いてくれて、今でははまっこの活動に行くのが毎回楽しみです。大学生活で悩み事があっても、はまっこに行つて子どもたちの無邪気な笑顔を見ると、リフレッシュされて私も元気になります。はまっこには、様々な子どもがいますが、その子どもたちそれぞれに合わせた対応（教育）をすることの大切さなどを日々実感しています。子どもたちの活動から学ぶことも多く、この経験で得られたこともたくさんあります。この活動は、自分自身の成長にもつながり、活動が続けられて良かったと思います。これからも、はまっこの活動を通して成長していけたらいいです。
- ③ボランティアは、まず活動を始めることが大切だと思います。やってみたいけれどなかなか始められない人もいるかと思うのですが、そんなときはボランティア支援室へ行くことをオススメします。ぜひ足を運んでみてください！

「子どもプログラミング教室」

活動日時：2015年12月13日 医学部 4年 茂木悠平

- ①準備ではアプリの操作に慣れる練習と講義の練習をし、当日は小中学生の子どもたちに講義をしながら、アプリの作り方を教えました。
- ②アプリ作り教室は勉強している分野とは異なるものだったので、自分に務まるか不安でした。しかし事前準備の指導が丁寧だったので知識がつかえました。全体の流れを見ながら時間を調整しなければいけなかったのも、とてもいいプレゼンテーションやワークショップの練習となりました。自分の講義で子どもたちが理解したかどうか不安でしたが、皆楽しそうにどんなアプリを作ろうか考えて作業している様子を見て、私もとても嬉しく、達成感に満ち溢れました。
- ③ボランティアをすれば、いつもとは違う世界や立場に飛び込んでいくことで得られるものが多いと感じました。



「NPO法人レクタスでの子どもたちの学習支援」

活動期間：2015年6月～現在 国際総合科学部 1年 岡宙哉

- ①学校や塾に馴染むことのできない子どもたちの学習支援を行っています。学習だけでなく、余暇支援（ギター教室）なども行っています。
- ②当初は個別支援学級の子どもたちに勉強を教えられるのか、という不安を感じていました。しかし始めてみると、彼らが普通の子と何ら変わりはないことに気づかされました。学校という環境が彼らに合っていないだけで、その環境さえ変われば全く普通の子と変わらなかったのです。この体験は大きく私の考えを変えました。
- ③普段はなかなか関わることのない子どもたちと関われるよい機会になると思います。とくに教職課程を取ろうと思っている人にはお勧めのボランティアです。ボランティアには新しい発見が必ずあります。是非参加してみてください。



「金沢区寄り添い型学習等支援事業 横浜いろは塾での学習支援」

活動期間：2015年8月～現在

国際総合科学部 1年 川上優生

- ①中学生に勉強のサポートをします。勉強の内容は宿題や受験勉強など様々です。休憩時には学校の話やゲーム、時には卓球をしています。
- ②勉強の進度は生徒によって様々です。勉強が嫌いな子もいれば（大半がそうですが）、勉強することを楽しめる子もいます。しかし、生徒が勉強に取り組むと、「ここはなんでこの答えなの？」「なんでこの公式は使えないの？」といった、「なんで？」という質問をよくしてきます。そういうときに、中学生の純粋さや、ごまかしのきかなさが感じられ、若いうち素敵だなあ、と思います（笑）。私も中学生と同じ目線に立って勉強をサポートをしています。うまく説明が伝わり生徒が「なるほど！」と言ってくれた時はとても嬉しいです。
- ③大学生は、ちょうど子どもと大人の間期的な存在だと思います。だからこそ、子どもへの寄り添い型のボランティアに最適なのではないかと私は思っています。大学生は社会人と比べて子どもの気持ちに共感しやすく（子ども側）、社会への距離は子どもたちよりは近い（大人側）です。なにより、自分のことを気にかけてくれている人がいるんだ、ということが感じられるだけで、子どもは嬉しいのではないのでしょうか。



「横浜カーフリーデー2015&モビリティウィーク」

活動日時：2015年9月22日

国際総合科学部1年 和田朋也

- ① イベント当日の会場設営やブース設営、テントでの来場者対応や景品交換、会場の片付けをしました。
- ② 市民ボランティアの方々によって毎年開催されているイベントです。今回は当日の運営しかお手伝いできなかったのですが、たくさんの方々とのイベントを通してお話しさせていただきました。また警察による音楽隊のパレードなどもあり、目の前で見られたのも良い経験になりました。
- ③ このボランティアは、企画から参加させてもらえるイベント系のボランティアで、イベント企画に興味がある人にはおすすめです。当日は皆さんとても忙しいので、事前の打ち合わせが大事です。当日の流れや、何を手伝え方がいいのか、しっかり打ち合わせをしておくといいでしょう。



「南部市場大感謝祭」 活動日時：2015年11月29日

国際総合科学部1年 小平ゆりか

- ① 大学のキャラクターであるヨッチー役として参加。色々な来場者と握手や写真撮影をしてふれあいました。
- ② ヨッチーの目を通して見た、たくさん笑顔は忘れられません。ヨッチーは子どもたちに人気でした。子どもたちが喜ぶのを間近で見て、私も楽しくなる思いでした。またお子さんとヨッチーの写真を撮影する親御さんの表情も、温かくて印象的でした。年配の方の笑顔は今まであまり見たことがなかったので、新鮮でした。感謝祭全体としては、いろんな方のちょっとした幸せのひとつを見られた気がします。
- ③ どんなボランティアでも様々なことを感じたり、学んだりできると思います。ぜひ参加してみてください。



「第20回野島クリスマスキャンプ2015」

活動期間：2015年12月12日～13日 国際総合科学部3年 今野恵悟

- ① 個別支援学級に通う小・中学生と一緒にクリスマスの思い出作りをしました。
- ② まずは自分が楽しむことが大切です。初めは子どもたちの思い出作りの手伝いとして捉えていたため、どうしたら子どもたちに楽しんでもらえるかを考えていました。しかし、夢中になって子どもたちと一緒に遊んでいる時の方が他の子どもたちも寄ってきて、沢山の笑顔を見せてくれました。子どもたちと同じ目線になることで、知り合って間もない子どもたちとすぐに仲良くなることができ、良い関係を築くことができるのだと思いました。
- ③ ボランティアに興味があるのになかなか参加できない人は、短期間の活動に参加してみるといいです。ボラ室に行くと色々なボランティアが紹介されていて、自分の都合にあう情報が見つかったり相談にのってもらえたりおすすめです。

「夏の有償ボランティア」活動日時：2015年8月25日 医学部1年 本荘直子

①医療型障害児(者)入所施設「ライフゆう」で1日有償ボランティアをしました。看護師について、生活している人の寝衣交換・体位変換の見学、入居者の方との会話、食事介助、飾りつけの補助をしました。

②一番印象に残っていることは食事介助を手伝わせていただいたことです。食事がペースト状になっており驚きました。職員の方は「今日はサバの煮つけだよ」とひと言添えておいをかがせてあげてから胃瘻にいれるのです。またごはんなら全部入れるのではなく、ごはんを少し入れたら次はサバという風に回して食べさせてあげていました。入居者の方の食事が少しでも楽しいものになるような工夫が沢山されていて素敵だなと思いました。

③ボランティアは時間がないとなかなかできないと思うので、少しでも気になったら足を運んでみると良いと思います。きっと素敵な体験になると思います!!!

「福島県震災復興ボランティア～Gakuvoながぐつプロジェクト～」

活動期間：2016年1月8日～11日 国際総合科学部1年 戸水万莉奈

①8日 Gakuvo本社にて顔合わせ、オリエンテーション。福島県いわき市へ移動。

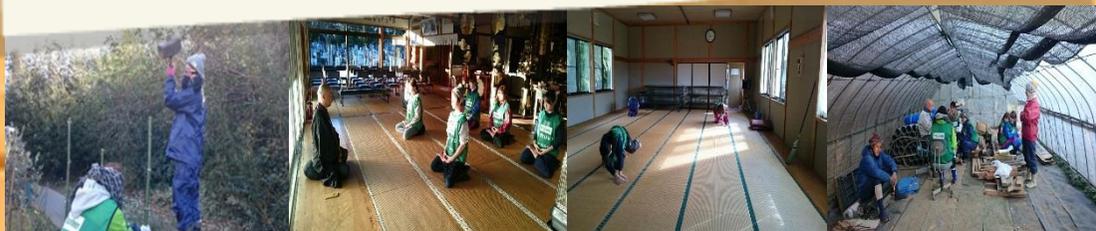
9日 フェイジョア畑お手伝い（風から木を守るために竹打ち、ネット張り等）

10日 長源寺の年中行事の準備（主に掃除）。その後、和尚さんに震災当時のお話を聞き「動けない苦しみ」を味わうために座禅。震災後東北でボランティアをしている梅村さんのお話を聞く。

11日 津波の被害にあった富岡町、久ノ浜へ視察。

②メディアで瓦礫まみれの街を見て、福島県全体が今もそのような状態だろうと思っていました。しかし、いわき駅に着くと綺麗に整備されており、福島県をひとつとして捉えるのではなく、場所により被害や復興の差があることを知りました。何が正しい情報なのかを自分で見極める力が必要だと強く感じました。震災というのは表面的な被害だけでなく、二次被害も多くあります。賠償金が引き起こす問題は複雑で、解決策は見出せませんでした。今後も何度か行き、自分自身で解決策を考えていきたいです。

③ボランティアにはいろんな種類がありますが、「ボランティアはするもの」ではなく「させていただくもの」だということを今回のボランティアに参加し、私は学びました。ボランティアを受け入れる側はボランティアに来てくれた人たちを大切にしてくれます。ボランティアをする側も同じ気持ちを持つことが大切です。ボランティアでは大学の講義やアルバイトよりも大事なことを学べます。忘れられない言葉に出会い、忘れられない光景も見ます。忘れられない出会いもあります。忘れられない経験をします。「ボランティアをする」ということは言葉以上の意味を持つことを体感してほしいです！



「国際青年環境NGO A SEED JAPAN」

活動期間：2012年～現在

国際総合科学部4年 永井亮

- ①環境問題に対する、若者を主体とした政策提言やキャンペーン活動を行ってきました。私は気候変動問題の重要性・緊急性を多くの若者に伝える活動をセミナーや市民フェスティバル等を通じて実施しています。
- ②ミッションのひとつに「環境問題を経済や社会構造そのものから見据える」ことがあります。気候変動、エネルギー、食など環境問題は多様化、複雑化していますが、そのような問題が生じる原因を追究することで、根本からの課題解決を目指しています。私は現在当団体の共同代表として、より多くの若者に環境問題の重要性・緊急性を伝えていきます。これらの活動を通じて関心が近い仲間と目標に向かって一緒に活動できることが、学生時代の一番のやりがいになっています。
- ③ボランティア活動の魅力は様々な価値観をもった人と出会えることです。特にA SEED JAPANは日本でも最も歴史のある市民団体のひとつなので、幅広い世代の人と接点をもつことができる場だと思っています。



「東京朝市Earth Day Market」

活動期間：2014年2月～現在

国際総合科学部4年 酒井萌実

- ①「東京朝市アースデーマーケット」というイベント運営補助をしています。車で来られる出店者の交通整理、竹テントの設営と後片付けや会場の清掃、出店者の販売の手伝いをしています。
- ②イベント主催者とボランティア参加者との距離が近かったため、自分が興味を持ってそうな他の団体を紹介して下さったことが良かったです。紹介を受けたNGOやNPOでもボランティアをしています。ひとつのボランティアがきっかけで、自分の興味・関心の対象が広くなり、新しいことに挑戦してみようと前向きになれました。
- ③ボランティアをしたのがきっかけで、自分の新しい一面に気づくことができたり、他に挑戦したいことが増えたりすれば学生生活がもっと充実すると思います。ボランティア支援室には、情報がたくさんあるのでぜひ行って下さい！



Let's volunteer ... !

Follow Us!

●ボランティア支援室●

Twitter <https://twitter.com/YCUvolunteer>

Facebook <https://www.facebook.com/YCU.volunteer>

●学生スタッフ●

Twitter https://mobile.twitter.com/ycuvolunteer_ss

Facebook <https://www.facebook.com/YCUvolunteer.ss>

Twitter
支援室



Facebook
学生スタッフ



支援室



学生スタッフ



ボランティア
の紹介

浜大祭
の出店

ワーク
ショップの
実施



広報誌
の発行

ボランティア
の参加

And...New
Challenge...!

横浜市立大学ボランティア支援室
〒236-0027

横浜市金沢区瀬戸22-2

横浜市立大学 金沢八景キャンパス

Tel: 045-787-2444

e-mail: voluntee@yokohama-cu.ac.jp

開室時間：平日10：00～17：00（不在時あり）